

(04日野台)

令和4年度 推薦に基づく選抜

# 小 論 文

## 注 意 事 項

- 1 問題は、4ページにわたって印刷されています。
- 2 検査時間は**50分**で、終わりは**12時20分**です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えをすべて解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出**しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 **文章は横書きとする。**
- 7 段落のはじめは1マス空け、句読点、「などは1字とする。ただし句読点,」が行頭にくることは避ける。
- 8 **英数字および小数点は2つで1字として1マスに書きなさい。**  
例 

a	b	c
---	---	---

1.	2	%
----	---	---

12.	3	%
-----	---	---
- 9 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

次の文章を読み、問1～問3に答えよ。なお、会話文中の資料1～資料4は会話文の後にまとめて掲載している。

H高校の生徒会執行部では、校内で「自転車乗車時のヘルメット着用」を呼びかけるという案が出た。しかし、生徒会執行部の中でもヘルメット着用について賛否両論があったため、それぞれ根拠となる資料を持ち寄ることとなった。

顧問 さて、前回のミーティングで、ヘルメット着用に賛成、反対と、それぞれ意見が出ましたが、その根拠となりそうな資料は持ってきましたか。

はるひ 私は自転車のヘルメット着用と事故の関係が分かる資料を、いくつか見つけて持ってきました。こちらの資料1～資料3です。

顧問 なるほど。はるひさんはヘルメット着用に賛成でしたね。反対していたゆうたさんはいかがですか。

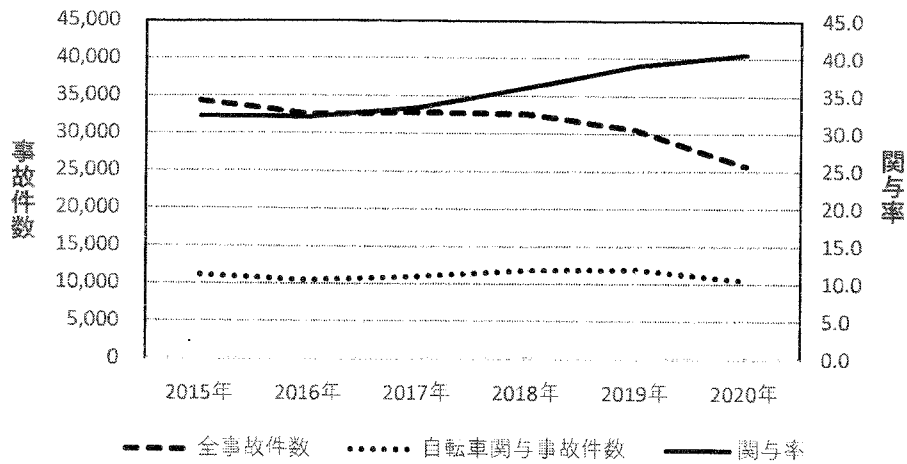
ゆうた 私は、オランダにいる友達にレポートを書いてもらいました。

顧問 ゆうたさんは、オランダに5年間住んでいたのですかね。

ゆうた そうなんです。オランダは、サイクリングがとても盛んなのですが、ヘルメットをかぶっている人はほとんど見かけませんでした。それで、その理由を現地の友達にメールで尋ねてみたのです。そうしたら、このようなレポート（資料4）を送ってくれました。オランダ語だったので、私が訳しました。

顧問 なるほど、いろいろな見方がありますね。では、これらの資料をもとに、みなさん一人一人に意見をまとめてもらいましょう。

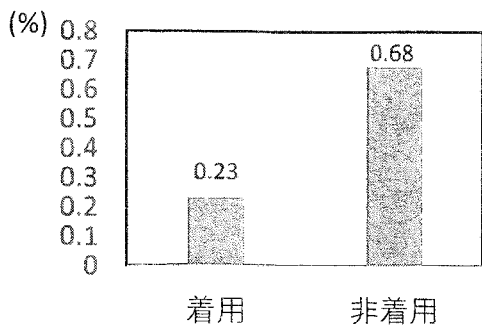
資料1 自転車事故件数の推移



年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
自転車関与事故件数	11,060	10,417	10,949	11,771	11,874	10,407
全事故件数	34,274	32,412	32,763	32,590	30,467	25,642
関与率(%)	32.3	32.1	33.4	36.1	39.0	40.6

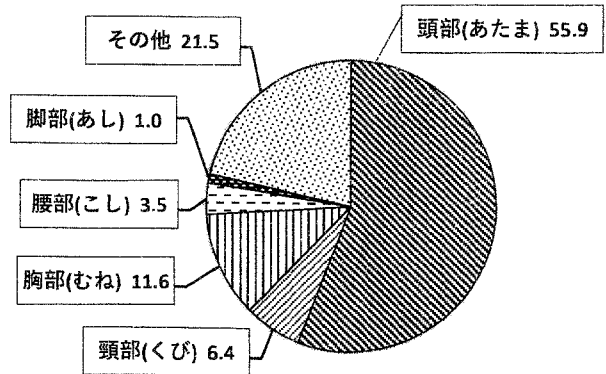
(注)自転車関与事故件数とは、自転車乗用者が事故当事者になった事故件数である。  
全事故件数とは交通事故全体の事故件数である。

資料2 ヘルメット着用状況別の致死率比較



(注)「致死率」とは死傷者のうち死者の占める割合をいう。

資料3 ヘルメット非着用の自転車乗用中死者の人身損傷主部位別比較(%)



令和3年警視庁交通局「令和2年における交通事故の発生状況等について」より作成

#### 資料 4

ゆうたさんへ

サイクリングはオランダの大切な文化の一つです。にもかかわらず、ほとんどのオランダ人は10歳をすぎると自転車に乗るときにヘルメットを着用しません。もちろん私もその一人です。その理由を私なりに調べ、まとめてみました。

そもそもオランダ人は車よりも自転車に乗ることを選びます。その大きな要因は、環境意識の高さです。

オランダでは1960年～1970年代、都市化とともに、モータリゼーション\*も進みました。ところがその後、地球温暖化が問題となるにつれ、自転車利用に対する意識が高まってきたのです。実は、オランダは国土の1/4が、海拔ゼロメートル以下なのです。つまり、温暖化による海面上昇の影響を受けやすい国の一つなのです。

また、健康意識の高まりからも自転車利用が増加したということです。オランダ政府は、企業に対して個人の病欠の日数と通勤手段の関係性を調査し、通勤で自転車を利用している人の方が健康であるといった調査結果を公表していますし、ある研究所のデータは、自転車利用者の方が1日のカロリー消費量が多いことを示しています。

オランダ政府は、1991年に国家戦略として「bicycle master plan」を策定し、自転車政策を展開してきました。その後、各自治体等で自転車専用道や駐輪場の大規模な整備が進み、また列車に自転車を持ち込むことができるようにもなりました。

自転車利用者は1980年からの15年の間で大幅に増加し、国内旅行者の約30%が自転車で旅に出るようになりました。そのため、車が自転車と道路を共有する機会が大幅に増えました。たった4%の人々しか自転車で旅行をしないイギリスと比べてみれば、いかにオランダの車の運転手が、自転車に慣れていているかがお分かりになるでしょう。

実際に、1980年からの15年間で、自転車事故による死者は6割近く減っているのです。自転車利用の促進と、自転車利用環境の整備が、自転車の安全性向上にプラスに働くという考え方が強いのです。

このような中で、ヘルメット着用を義務化すれば、自転車の利用が減る可能性があります。これはイギリスのサイクリング団体の調査ですが、オーストラリアの西オーストラリア州では、ヘルメットを強制する法律を施行後、自転車利用者は約30%減少したそうです。

そこでオランダでは、ヘルメット着用を推進する代わりに、安全教育に力を入れていきます。オランダでは5歳で小学校に入学しますが、入学してすぐに学校で交通安全教育を受けるようになります。そして学年が上がるにつれ、徐々に高いレベルの安全教育を受けます。日本の小学校4年生に当たる学年では「国民交通試験」と呼ばれる自転車試験が行われます。試験への参加は任意ですが、全国の約90%以上の学校が参加しています。こうして学ぶうちに、みんな自分で自転車に乗って安全に学校に通学できるようになるのです。

これで、オランダ人がヘルメットなしに自転車に乗る理由がお分かりいただけでしょうか。

※モータリゼーション…車（自動車）が広く社会に普及すること。なおレポート中の「車」は自動車のことです。

問1 はるひさんが提示した、資料1～資料3から読み取れることとして、正しいものには○、そうでないものには×を記せ。

- ① 交通事故の全事故件数は大きく減少しているのにもかかわらず、自転車の関与した事故件数は増加している。
- ② ヘルメットを着用している場合は、非着用と比べて致死率が1/4以下である。
- ③ ヘルメット非着用の自転車乗用中死者の人身損傷主部位の中で、頭部の割合は半数以上である。

問2 ゆうたさんが提示した、オランダの友人のレポート（資料4）から読み取れることとして、適切なものを二つ選べ。

- ① 地球温暖化による海面上昇の影響を受けやすい国であるオランダでは、環境問題に対する国民の意識も高く、それは、オランダ人が車よりも自転車の利用を選ぶことに関係している。
- ② オランダでは、1980年からの15年間で自転車の利用が大幅に増加し、道路が車と自転車で共有しきれなくなったため、政府は自転車専用道の整備に乗り出した。
- ③ オランダ政府は、企業への調査で、自転車通勤者の病欠が少ないことが明らかになったため、健康増進のための国家戦略として「bicycle master plan」を策定し、自転車利用の促進を図った。
- ④ 1980年からの15年間で、オランダでは自転車の利用が大幅に増加した一方、自転車事故による死者は大きく減少しているが、この間に、オランダ政府は、「bicycle master plan」を策定している。
- ⑤ オランダでは、自転車の安全教育にも力を入れており、学校での交通安全教育を受け、「国民交通試験」に合格することで、ヘルメットなしで自転車に乗れる仕組みになっている。

問3 はるひさんが提示した資料1～資料3、ゆうたさんが提示した資料4をすべて使って、「自転車乗車時のヘルメット着用」について、あなたの考えを400字～480字でまとめよ。その際、以下の条件を守ること。

条件1 次の順序で段落を構成し、論じること。

- 第1段落 賛成か反対かを明示する。
- 第2段落 その理由を述べる。
- 第3段落 自分と逆の意見に触れる。
- 第4段落 まとめ

条件2 資料に触れる際には、どの資料によるのかを明示すること。

**書き方例** 「資料1によると…」